



いたびつ  
**板櫃** <校訓>  
真理の探究  
自主躍進

令和5年4月19日(水)発行  
校長 栗原 博巳  
北九州市小倉北区白萩町8番1号  
HP: www.kita9.ed.jp/itabitsu-j/

<学校教育目標>

自立・共生～自立心にあふれ、他を思いやる心をもった生徒の育成～

<目指す生徒像>

- ① 「時を守り、場を清め、礼を正す」生徒(凡事徹底)
- ② 自ら考え、正しく判断し、進んで学習や諸活動に取り組む生徒(自立)
- ③ 思いやりの心を持ち、協力し合って集団生活の向上に努める生徒(共生)
- ④ 与えられた仕事に対し、役割を果たすことのできる生徒(責任)

## 板櫃中 隠れたカリキュラムの紹介

子どもたちが、学校生活を有意義に過ごし、自他を大切に、成長するためには、学校の教育課程を体系的に整備することが必要であると言われています。その成長のために、そうしたカリキュラム(教育課程=授業)の整備と共に、いわゆる「隠れたカリキュラム」も重要です。

「隠れたカリキュラム」とは、「教育する側(教師側)が意図する、しないに関わらず、学校生活を営むなかで、生徒自らが学びとっていき全ての事柄」を指します。学校・学級の「隠れたカリキュラム」を構成するのは、それらの場の在り方であり、雰囲気といったものです。

つまり、ものがきちんとそろっていれば、生徒は「ものはきちんとそろえるものだ」ということを自然と学びます。学校は生徒が主役です。その生徒自らが自分たちで推進する「隠れたカリキュラム」が板櫃中を支えていると言っても過言ではないと思います。

大人の感覚では、下に紹介する実践は「あたりまえ」と感じる人が多いと思います。しかし、「あたりまえのこと」を意識せず、自然と取り組んでいる板櫃中の生徒の姿勢をほめてあげたいと思います。(あたりまえのことは、なかなかできないと思います)



3年生の下足置き場です。毎日きちんと整っています。見ていてとても気持ちがいいものです。修学旅行では、ホテルなどでも履物をそろえることができるといいですね。それだけで、「北九州市の板櫃中はすごいね」と言われると思います。今回は3年生の下足置き場ですが、1・2年もきちんとそろっています。



トイレ前のスリッパの様子です。きちんとそろっています。よく、「その学校のトイレを見れば、その学校がどんな学校かが分かる」と言われます。つまり、トイレはその学校の顔なのです。トイレ掃除は誰もが経験すると思いますが、全員で板櫃中のトイレをきれいにしましょう。



廊下の雑巾掛けです。本格的に掃除が始まります。1年間このように整った雑巾掛けでありたいものです。精神を安定させ、何事もなく静かに日々を過ごす秘訣は掃除です。掃除は、物をきれいにするという意味があります。確かにそれはそうですが、本当の掃除とは、自分の心を清め、平静に務めることです。



貸し出し用のボール置き場です。毎日昼休みになると、中庭で元気に遊んでいる姿を見ることができます。このようにきちんとしていると、次に使う人も気持ちがいいですね。昼休みは外で遊ぶ人、図書館や教室で過ごす人などいろいろです。勉強も大切ですが、リラックスできる時間を友達と過ごしましょう。



教室内のファイルやワークを置くボックスの様子です。新学期が始まったばかりなのでまだまだきれいですが、1年間整えていくことで、「学級力」が向上します。勉強道具を整えることは、学習環境の向上につながり、勉強に対する意欲も高まると言われています。3年生は入試まで頑張りましょう。



教室内の学級掲示は学級の「落ち着き」を表します。また、多くの情報を手に入れる場所であったり、みなさんの学習のあしあとを残したりする場所でもあります。休み時間などを利用して、学級内の掲示物には目を通すといでしょう。新しい発見があるかもしれませんよ。特に、進路関係は重要です(3年生)。



宮川先生が遅くまで準備をしていた学級の手洗い用石鹸です。板櫃中学校はいたずらなど一切ないと聞きました。準備してくれた先生がたの気持ちを考えるとそのようなことはできませんよね。学校での感染対策はもう少し必要です。感染予防のため、なくなったらすぐに補充しましょう。